

# ほんのもり 6月



No 3.2022.6  
日の出中学校図書館  
学校司書 中井孝子

～日の出中図書館だより～

梅雨の季節になりました。

「青葉雨」「錦雨」「大雷雨」など、雨に関する言葉は日本にはたくさんあります。また「山賊雨(群馬県沼田市)」「御雷様雨(宮城県石巻)」「宝雨(秋田県地方)」など、その地域でのみ使われている雨の言葉もあるそうです。(詳しくは高橋順子『雨の名前』小学館)あなたは雨に関するどんな言葉を知っていますか？

6月の図書委員会の目標は【図書館に行ってもっと本を借りよう】です。



雨の日は図書館で本を読んでもみませんか？



おすすめの本です。

<p><b>武田康男『虹の図鑑』緑書房</b> 虹を見ると幸せな気持ちになりませんか？本書では虹のしくみやさまざまな姿の虹の写真を見ることができます。</p>	<p><b>緑川聖司『晴れた日は図書館へいこう』ポプラ社</b> 本好きな小学5年生の茅野しおりが図書館で出会うちょっとした謎「60年前に貸し出された本」「雨の中、公園のベンチに座り傘をさして本を読む女の人」とは…？</p>
<p><b>前田裕二『メモの魔力』幻冬舎</b> 「僕は、365日、とにかくおびただしい量のメモをとっています。」著者はメモを取り続けることで夢をかなえてきました。著者のいう、「メモの魔力」とは？みなさんも、さっそくメモの準備を！</p>	<p><b>瀬尾まいこ『傑作はまだ』ソニー・ミュージックエンタテインメント</b> 家に引きこもって仕事をする作家の父親のもとに写真でしか知らない25歳の実の息子が現れた。その同居生活はどうなるのか…？</p>
<p><b>あさのあつこ『バッテリー』角川書店</b> 父の転勤で春休み一家で岡山県の地方都市に引っ越してきた12歳の原田巧。持って生まれた才能とひたむきな努力で天才ピッチャーとして自信を持つ巧。彼とバッテリーを組むことを熱望する永倉豪は…？</p>	<p><b>重松清『きよしこ』新潮社</b> 吃音でうまく話せない言葉がある白石きよし。心で思っていることや言いたいことはたくさんあるのに…きよしはそれでも自分なりの方法で前に進んできた。きよしが最後にとる行動は？</p>

5月のクラス別貸出冊数と6月1日現在の延滞冊数です。今月はゴールデンウィーク、体育祭、中間試験、3年生は修学旅行と行事がたくさんあり、貸出冊数は少なくなっています。

	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
貸出	20	28	24	12	26	4	15	18	0	5	2	15
延滞	9	13	3	1	6	0	0	1	1	1	0	5